

減災のための目標と進捗状況について

平成30年8月7日

仙台河川国道事務所

減災対策協議会でのフォローアップについて

- 各構成機関の取り組みについては、必要に応じて、防災業務計画や地域防災計画、河川整備計画等に反映するなどによって、責任を明確にし、各々の組織において計画的、継続的に取り組む。
- 原則、本協議会を毎年出水期前に開催し、取り組みの進捗状況を確認するとともに、必要に応じて全国の取り組み内容や技術開発の動向等も踏まえ、取り組み方針を見直す。
- 実施した取り組みについても訓練等を通じて習熟、改善を図る等、継続的なフォローアップを行う。

概ね5年で実施する取り組み

- ①住民の主体的で安全な避難行動を促す日頃からのリスクコミュニケーションの推進
 - 平時からのリスク情報周知や防災教育等に関する事項
 - 洪水が起こった場合の迅速かつ確実な避難に関する事項

- ②発災時に人命と財産を守る水防活動の強化
 - 水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項

- ③一刻も早く日常を取り戻すための排水活動の強化等
 - 排水活動及び訓練、施設運用に関する取り組み

- ④ハード対策
 - 洪水氾濫を未然に防ぐ対策
 - 危機管理型ハード対策

平時からのリスク情報周知や防災教育等に関する事項①

➤ 阿武隈川沿川において大規模な氾濫が発生した場合に、地域住民の安全な避難を図り、**隣接する市町間が相互援助を円滑に行うための協定を角田市・丸森町・亶理町・山元町で締結**

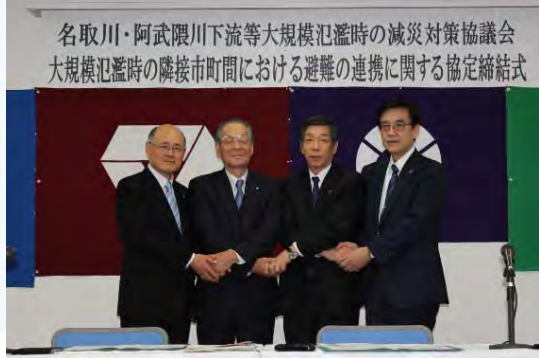
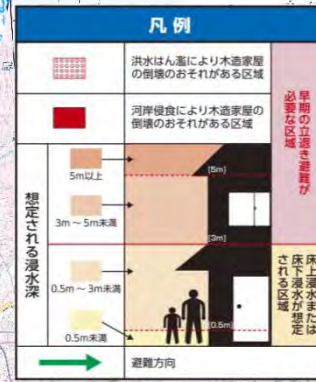
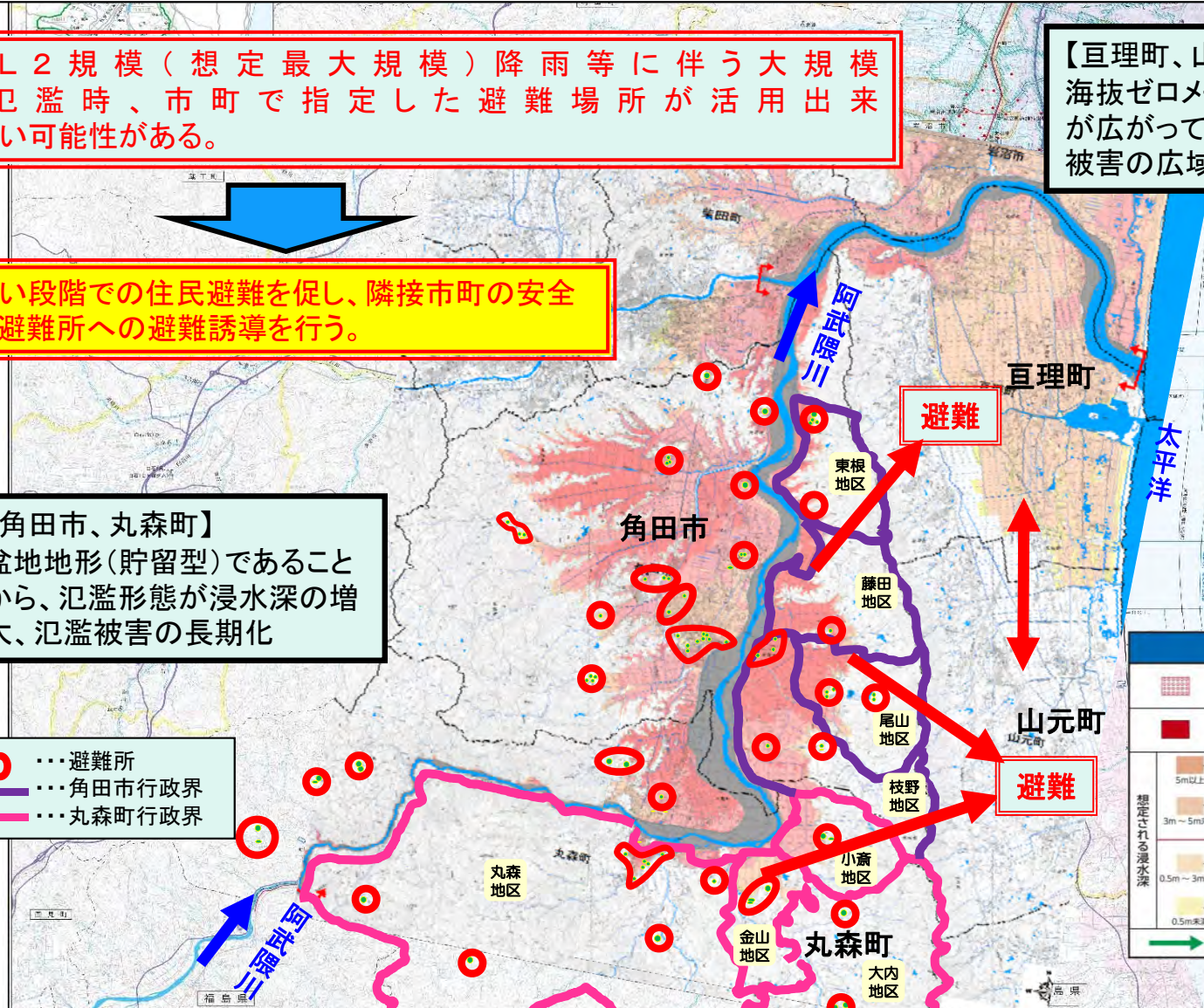
◎ L2規模（想定最大規模）降雨等に伴う大規模氾濫時、市町で指定した避難場所が活用出来ない可能性がある。

【亶理町、山元町】
 海拔ゼロメートル地帯が広がっており、氾濫被害の広域化、長期化

早い段階での住民避難を促し、隣接市町の安全な避難所への避難誘導を行う。

【角田市、丸森町】
 盆地地形（貯留型）であることから、氾濫形態が浸水深の増大、氾濫被害の長期化

- ……避難所
- ……角田市行政界
- ……丸森町行政界



<実施・検討機関>
 検討中：角田市・丸森町・亶理町・山元町

平時からのリスク情報周知や防災教育等に関する事項②

➤ 岩沼市において、要配慮者利用施設における避難確保計画作成等の義務化に関する説明会を実施

開催の目的

水防法等の一部を改正する法律が施行されたことに伴い、水防法第14条第1項に基づき指定された洪水浸水想定区域並びに土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律第7条第1項及び第9条第1項に基づき指定された土砂災害特別警戒区域及び土砂災害警戒区域内に所在する要配慮者利用施設の所有者及び管理者に、避難確保計画作成等が義務付けられたことから、市内の該当施設の所有者及び管理者を対象に、当該義務内容の説明会を開催することで、当該義務内容に関する理解及び主体的な避難確保計画の作成を促進することを目的とする。

- 開催日時 平成30年6月29日
- 会場 岩沼市総合体育館 2階会議室
- 参加者 71人(出席施設数71施設。[重複分含む。])

説明会の様子



今後の展開など

本市では、平成31年度まで土砂災害特別警戒区域及び土砂災害警戒区域が新たに指定される予定であり、避難確保計画の作成が義務付けられる施設が今後増えていくことが予想されることから、平成31年度及び平成32年度においても、説明会への未出席施設及び新たに計画作成が義務付けられた施設を対象に、同様の説明会を実施予定。

<実施機関>

実施済(全施設策定時):

実施中:仙台市、岩沼市、丸森町、亘理町

洪水が起こった場合の迅速かつ確実な避難に関する事項①

- ▶ 緊急速報メールを活用した洪水情報のプッシュ型配信を平成30年5月1日から、配信対象エリアを国管理河川109水系市町村に拡大配信



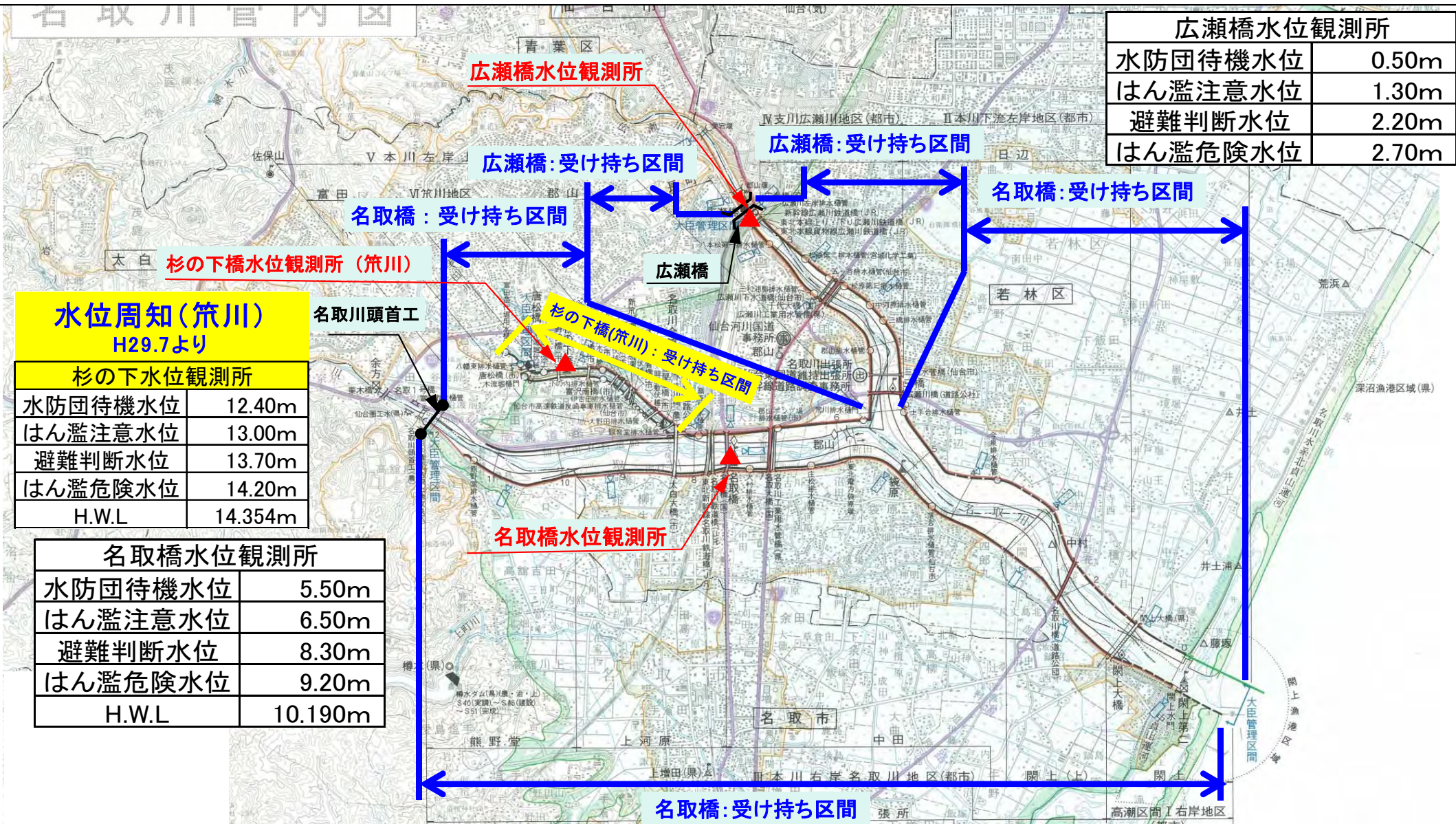
洪水情報のプッシュ配信イメージ



<実施機関>
 実施済: 東北地整

洪水が起こった場合の迅速かつ確実な避難に関する事項②

➤ 水位周知河川として名取川支川の「^{ざるがわ} 策川」の追加(平成29年7月より)

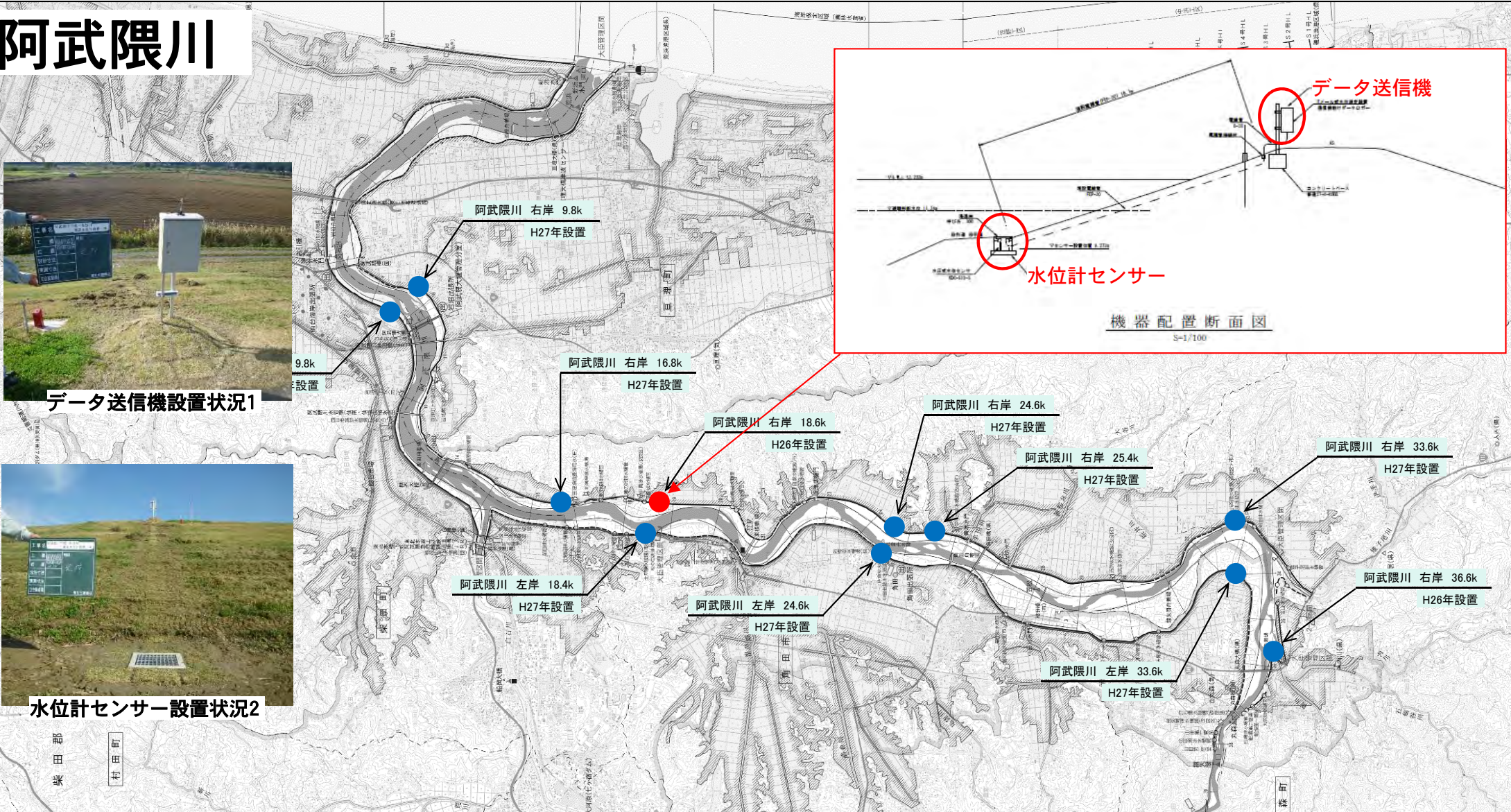


＜実施機関＞
実施済: 東北地整

水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項①

➤ 危機管理型水位計(簡易水位計 阿武隈川 11箇所、名取川・広瀬川 9箇所)《H26～H29設置》

阿武隈川



<実施機関>

実施済:東北地整

水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項②

洪水時における水防活動の迅速かつ的確な対応のため、※重要水防箇所について関係者合同での現地確認を行い、双方においての情報共有を目的に実施。

※重要水防箇所とは・・・洪水時に堤防等の監視、巡視、水防活動を特に注意する必要がある箇所。

●実施日

- ①名取川地区 平成30年5月23日（水）
- ②岩沼地区 平成30年5月28日（月）
- ③角田地区 平成30年5月31日（木）

●出席者（81名）

- ・各水防団（消防団）5団体、各消防署
- ・自治体（仙台市、名取市、岩沼市、角田市、亶理町、柴田町、丸森町）
- ・宮城県、土木事務所
- ・仙台管区气象台 ・七ヶ宿ダム管理所
- ・仙台河川国道事務所（岩沼出張所、角田出張所、名取川出張所）



注意箇所確認状況（角田管内）



注意箇所確認状況（角田管内）



注意箇所確認状況（岩沼管内）



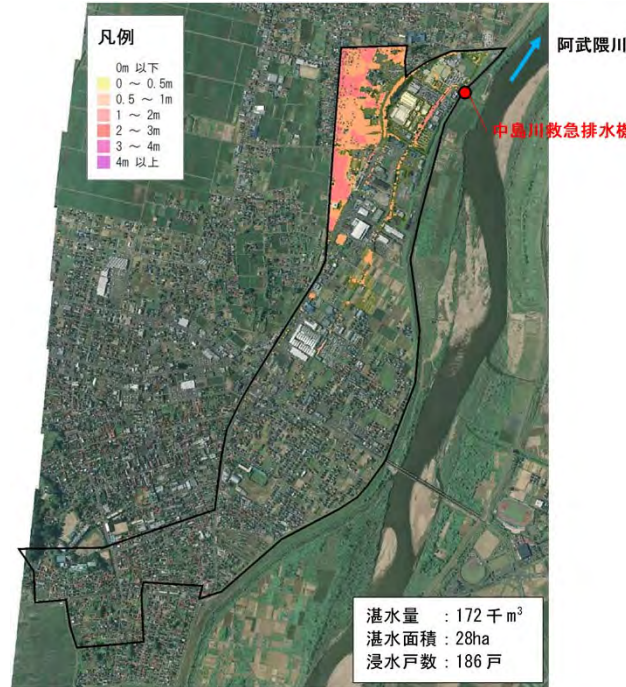
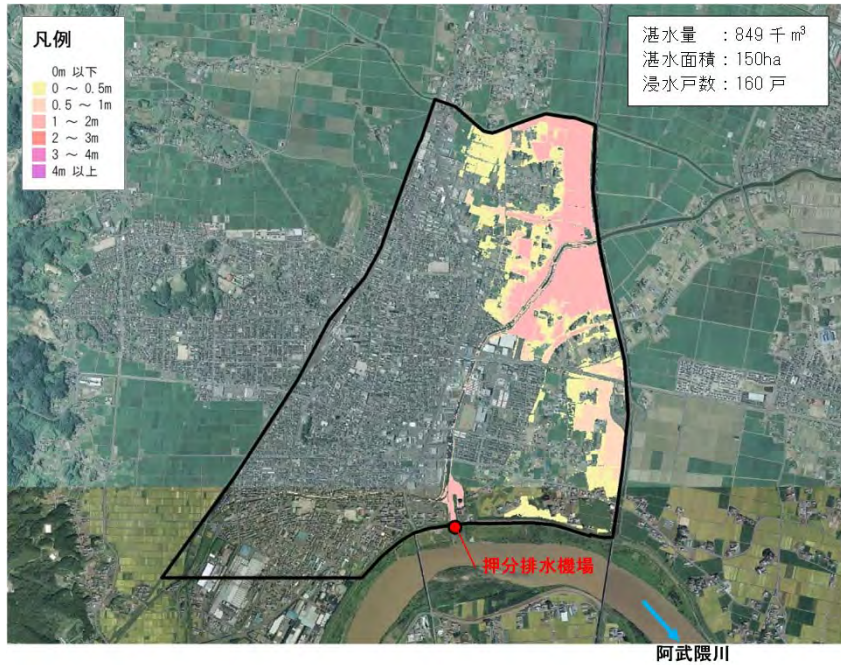
水防倉庫視察状況（岩沼管内）

<実施機関>

実施済：東北地整、宮城県、气象台、仙台市、名取市、岩沼市、角田市、亶理町、柴田町、丸森町

排水活動及び訓練、施設運用に関する取り組み①

▶ 仙台河川国道事務所において、大規模氾濫時における排水計画(案)《排水ポンプ車配置計画》を平成30～31年度に作成(予定)。その後、各関係自治体と排水施設情報等の共有を行う。



丸森町雨水調整池



内川への排水

図 想定湛水範囲図(左：押分排水機場、右：中島川救急排水機場)



- 例) 既設排水ピットを活用した排水検討
- ・ 堤防天端が広く、排水ポンプ車を配置しやすい
 - ・ 既設排水ピットを活用する他、深川排水樋門の呑口部からも排水を実施
 - ・ 配置する排水ポンプ車の規模は、釜場の大きさから限定されることになる

<実施機関>
実施中: 東北地整

ハード対策①

➤ 堤防強化(漏水対策)を図り、浸水被害を防止する。

名取川(広瀬川)河川改修事業(堤防強化)(仙台市)



▲名取川(広瀬川) 長町地区(仙台市太白区长町地先)

<実施機関>

実施中:東北地整

ハード対策②

- 築堤(断面拡幅)をすることにより、堤防決壊時に想定される約6,500戸の浸水被害を防止する。
- 当該地区の堤防は、災害発生時、避難経路として活用でき、迅速且つ効率的な避難が可能となる。

阿武隈川下流河川改修事業(堤防整備)(柴田町)



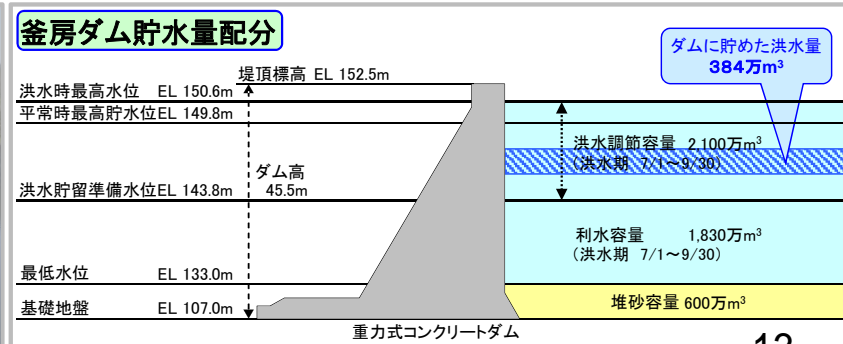
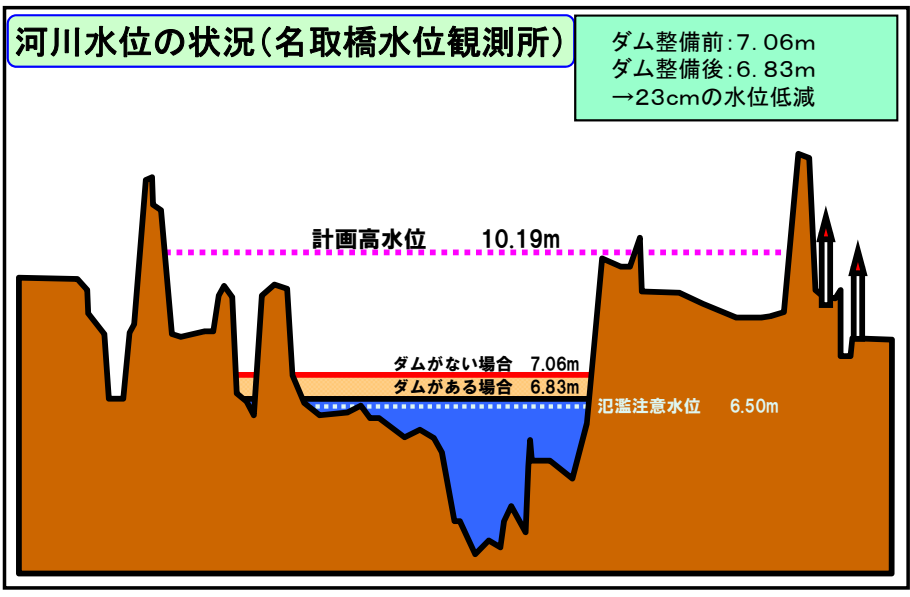
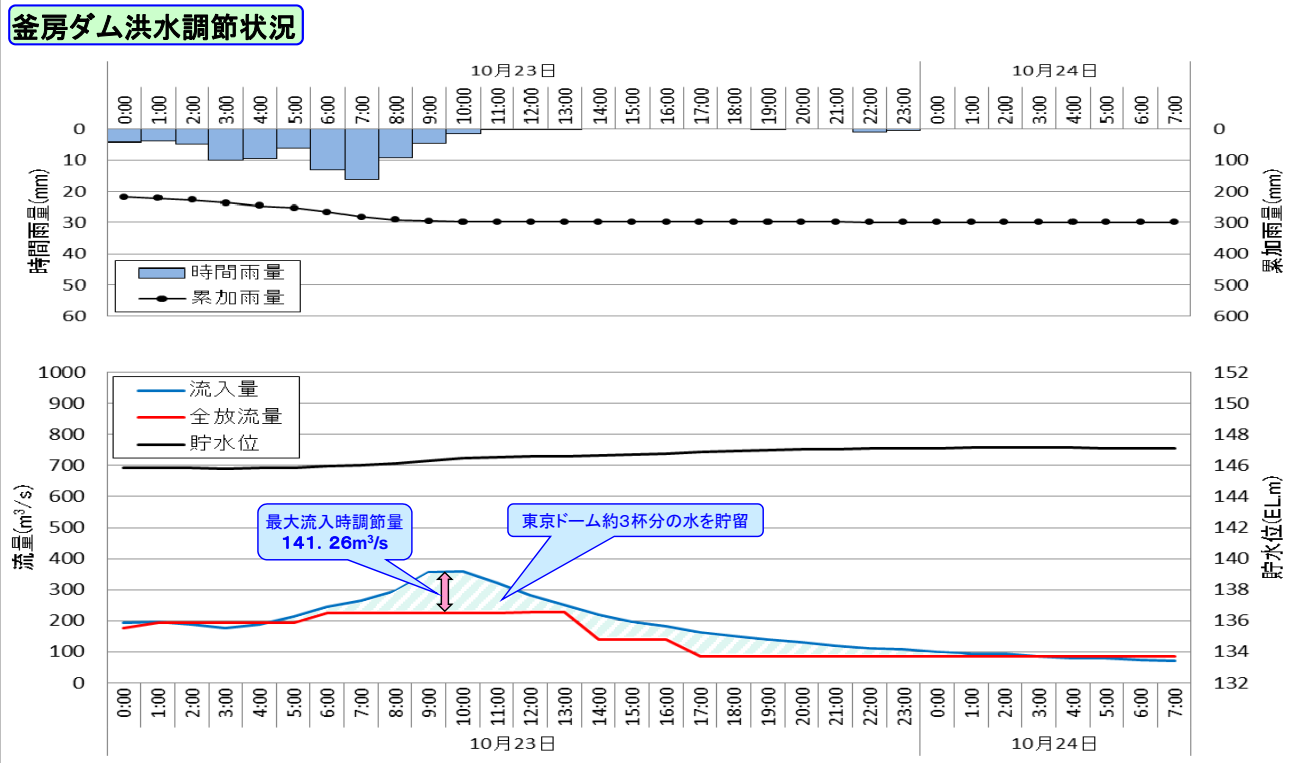
▲阿武隈川下流 下名生地区(柴田郡柴田町下名生地先)

<実施機関>
実施中:東北地整

釜房ダムの効果(平成29年10月23日台風21号)

- 釜房ダム上流域において、流域平均累加雨量は299.7mm、最大流入量は毎秒367m³となる流入量を記録しました。
- 今回の洪水期間中において、**384万m³(東京ドーム約3杯分)**の水を貯留し、下流の洪水被害の軽減を図りました。
- 釜房ダムでは、**下流域の被害をできるだけ軽減**するためのダム操作を行いました。
- ダム下流の名取橋水位観測所地点では、**23cmの水位を低減させる効果**があったものと推測されます。

※本資料の各数値については速報値であり、今後の詳細調査で変わる場合があります。



○概ね5年で実施する取組の進捗状況

1)ハード対策の主な取組

■洪水氾濫を未然に防ぐためのハード対策

H30.5.23時点

具体的取組	課題の対応	目標時期	東北地整	仙台管区 気象台	宮城県	仙台市	白石市	名取市	角田市	岩沼市	蔵王町	七ヶ宿町	大河原町	村田町	柴田町	川崎市	丸森町	亶理町	山元町
<名取川> ・堤防のバイピング対策	-	継続実施	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
<阿武隈川下流> ・堤防の浸透対策 ・堤防のバイピング対策 ・堤防整備	-	継続実施	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
<名取川 他> ・河道掘削 ・堆積土砂撤去・支障木伐採	-	継続実施	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
<平家川 他> ・堤防整備 ・河道掘削	-	継続実施	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
<高倉川 他> ・堆積土砂撤去・支障木伐採	-	継続実施	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

■危機管理型ハード対策

<名取川> ・堤防天端の保護	-	H28年度中	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
<阿武隈川下流> ・堤防天端の保護	-	H28年度中	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

2)ソフト対策の主な取組 ①住民の主体的で安全な避難行動を促す日頃からのリスクコミュニケーションの推進

具体的取組	課題の対応	目標時期	東北地整	仙台管区 気象台	宮城県	仙台市	白石市	名取市	角田市	岩沼市	蔵王町	七ヶ宿町	大河原町	村田町	柴田町	川崎市	丸森町	亶理町	山元町
■平時から住民等への周知・教育・訓練に関する事項																			
想定最大外力を対象とした洪水浸水想定区域図の策定・公表を行う	1	東北地整:H28年6月実施済 H29.6笹川追加 宮城県:H29年度から順次実施 H29.5白石川外2河川公表	●	-	○ 【H30】	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
想定最大外力を対象とした氾濫シミュレーションの公表を行う	1	東北地整:H28年度実施済 H29年度笹川追加 宮城県:H29年度から実施検討	●	-	△	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
想定最大外力を対象とした洪水ハザードマップの作成・配布を行う	1	H28年度から順次実施	-	-	-	●	△	△	●	●	△	-	△	△	△	△	●	○ 【H29】	△
参加市・町による隣接市町間の避難計画の策定を行う	1	H28年度から順次実施	(○) 【H29】	(○) 【H29】	(○) 【H29】	△	△	△	○ 【H29】	△	△	-	△	△	△	△	○ 【H29】	○ 【H29】	○ 【H29】
隣接市町間の避難を踏まえた避難勧告等の発令基準の見直しを行う	1	H29年度から順次実施	-	-	-	△	△	△	△	△	△	-	△	△	△	△	△	△	△
首長も参加したロールプレイング等の実践的な避難訓練を実施する	3	H28年度から順次実施	●	●	●	●	●	●	●	●	△	-	△	●	●	△	●	●	●
小中学校等を対象とした水災害意識の向上を図るための水災害教育を実施する	2	継続実施	●	●	●	●	△	△	△	△	△	-	△	△	●	●	△	△	△
要配慮者利用施設における避難計画の策定及び訓練の促進	8	継続実施	-	-	-	●	△	△	△	△	△	-	△	△	△	△	●	●	-

■円滑かつ迅速な避難に資する施設整備に関する事項

隣接市町間の避難に着目した洪水タイムライン(防災行動計画)の作成	3,4	H29年度から順次実施	△	△	△	△	△	△	△	△	△	-	△	△	△	△	△	△	△
住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供やプッシュ型情報の発信を行う	2	H29年度から順次実施	●	-	-	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

2)ソフト対策の主な取組 ②発災時に人命と財産を守る水防活動の強化

具体的取組	課題の対応	目標時期	東北地整	仙台管区 気象台	宮城県	仙台市	白石市	名取市	角田市	岩沼市	蔵王町	七ヶ宿町	大河原町	村田町	柴田町	川崎市	丸森町	亶理町	山元町
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項																			
水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練を実施する	10	継続実施	●	-	●	●	△	●	●	●	△	-	●	●	●	●	●	●	●
毎年、水防団や地域住民が参加し水害リスクの高い箇所の共同点検を行う	15	継続実施	●	●	●	●	△	●	●	●	△	-	●	△	●	△	●	●	-
水防団の円滑な水防活動を支援するため簡易水位計や量水標等の設置を行う	10,13	継続実施	●	-	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
毎年、関係機関が連携した合同水防訓練を実施する	14,15	継続実施	●	●	●	●	△	●	●	●	△	-	△	△	●	△	●	●	●
■市町村庁舎や災害拠点病院等の自衛水防の推進に関する事項																			
水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定を促進する	14	継続実施	-	-	-	●	●	△	△	△	●	-	●	●	●	●	○	●	-
大規模工場等へ浸水リスクの説明と水害対策等の啓発活動を行う	5	H28年度から順次実施	-	-	-	●	△	△	●	△	△	-	△	-	△	△	●	△	-

2)ソフト対策の主な取組 ③一刻も早く日常生活を取り戻すための排水活動の強化等

具体的取組	課題の対応	目標時期	東北地整	仙台管区 気象台	宮城県	仙台市	白石市	名取市	角田市	岩沼市	蔵王町	七ヶ宿町	大河原町	村田町	柴田町	川崎市	丸森町	亶理町	山元町
■排水活動及び訓練、施設運用に関する事項																			
氾濫水を迅速に排水するため、排水施設情報の共有・排水手法等の検討を行い、大規模水害を想定した排水計画(案)を作成する	16	H28年度から順次実施	○	-	○	△	△	△	△	△	△	-	△	△	△	△	○	△	-
排水ポンプ車出動要請の連絡体制を整備し、排水計画(案)に基づく合同訓練を実施する	16	H29年度から順次実施	○	-	○	●	△	△	△	△	△	-	△	△	○	△	●	△	-

●:実施済、○:実施中【 】内は目標年度、△:今後実施・検討予定、-:実施しない、():具体的取組に関する支援